

## おいしい防災コミュニティ部会がいく！

(第64回 2023年9月)



水ってどんな味なんだろう？ ある時ふとそんな疑問が浮かんだ。

それを表現するのは難しい。甘いわけでも辛いわけでも苦いわけでもない。無味と言いたいところだが、喉がカラカラの時に飲む冷たい水の美味しさは誰しも認めるところ。清涼飲料水やビールをグビッとやるのとはまた違う美味しさだ。その違いを言葉で説明するのもとても難しい。

おいしいん防は子どものころ、天然水を飲んで育った。と言うといかにもお坊ちゃまばいが、要は井戸水である。地下水（飲用に適していることは保健所が調査済み）をポンプで汲み上げて使っていた。つまり田舎の子だったわけ。

初めて関東の某県へ行った時、喫茶店で出された水の不味さに啞然とした。水道から出る水はもっと不味い。すさまじくカルキ臭かったのだ。

大人になってからは、外食で出てくる冷水を除けば、ただの水を飲むことはほとんどなかった。ペットボトルのミネラルウォーターにお金を払うのは馬鹿らしい気がして、買うのはたいていコーヒーかお茶。夏場でも冷蔵庫に常備されているのは麦茶や牛乳だった。

2年ほど前から、なぜか水（ペットボトル入り〇〇の天然水）をケース単位で購入して、日常的に飲むようになった。健康のことを考えてとかではなく、カラダが自然と求めてくるのだ。

そうなっても特に気に入りの銘柄はなく、いちばん安いやつを適当に選んでいた。ハッキリ言って、水なんてどれも同じと思っていたのである。ところが……



最近ある店で買った初銘柄の天然水を飲んだところ、

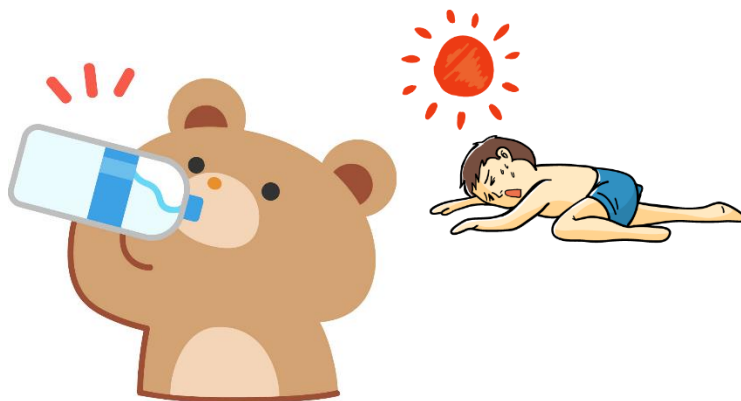
「う、美味しい！」

それまで何の気なしに飲んでいた他銘柄のものより口に合うのである。いったいどこが違う？とそれまで気にも留めてなかったラベルの成分表示を読んでみた。100 mlあたりナトリウム 1.1mg、カルシウム 0.71mg、カリウム 0.46mg、マグネシウム 0.55mg などと記載されている。他の品と較べても、そう大きく異なっていない。ちなみに原産地は鳥取県の大山だ。

たしかに六甲だの四万十川だの南アルプスだの原産地は色々でも、同じ日本国内なんだからさほど変わらないはずだ。ではこの美味しさの差はどこから生まれるのか？

原因は微妙な成分の差か、殺菌などの処理方法の違いくらいしか思いつかない。ただこれは、あくまでもこの銘柄がおいしいん防の口に合ったということなので、人によって好みは千差万別だろう。言いたいのは、水はどれも同じじゃないということ。自分に合った天然水を探してみるのも一興ではないか。どうせ身銭を切って水分補給するなら、

美味しいものを！



## TOPICS

### ☆台風7号が関西を縦断！

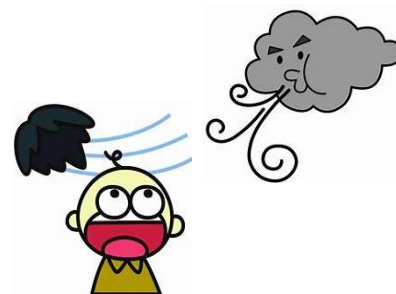
お盆の真っ最中である8月15日に、台風7号が近畿地方を縦断した。大雨による土砂崩れや河川の氾濫で、各地に大きな被害が出た。怪我人のほとんどは強風によるもので、落下物がぶつかったりあおられて転倒するケースが多かった。

東近江市においては、降雨量は比較的少なかったものの、風がかなり強かった。幸いにも大きな被害は出ず、湖東地区では開設された避難所に避難した住民もなかった。

台風や集中豪雨で湖東地区が気をつけなければならないのは、次の2点。

- ① 愛知川や中小河川・用排水路などには近づかない。避難する場合は、必ず雨が降り出す前に移動する。
- ② 雨戸を閉めたりするのは、風が出る前に。強く吹いている最中は、建物の外には出ない。

9月以降も風水害の危険は続くので、ご注意ください！



### ☆災害においても《つながり》は大切

こと防が加盟している【災害支援市民ネットワークしが】の研修が9月1日に開かれ、食いしん防も参加した。

今回のテーマは『災害におけるつながりが生み出すイノベーション』で、大阪公立大学准教授の菅野拓氏による講演が行われた。

災害対策というのは、完全な解決ができないやっかいな問題である。それに対処するには、幅広いネットワークを構築しておくことが有効とのこと。おっ、てことは『こと防』の方向性は間違っていないんだ！

幅広いネットワークを作るためには、ハブのような存在になれる人が重要。ハブのような人とは、多彩な人脈を持つコーディネーターのこと。扇のかなめのような人ね。

さて、こと防には湖東地区以外にどこまでネットワークを広げられているだろうか。市辺地区の防災連絡協議会とはコネがある。まちづくりネットや日赤の中村準一さんとの結びつきも強固だ。むろん市の防災危機管理課とも二人三脚だ。

引き続きこと防は様々な団体や個人と《つながって》いく所存だ。



←このハブじゃなくて →こっちのハブね



## 今後の活動予定

9月 3日 東近江市総合防災訓練（能登川中学校）

21日 防災コミュニティ部会議

10月 8日 北花沢町防災運動会

30日 災害支援市民ネットワークしが研究会

11月 3日 ことうふるさとまつり 2023 における啓発活動を計画中

※ 出前講座の申し込み受け付けます！



## 勝手にQ&Aコーナー

Q：以前、台風で夜に避難所へ行ったとき、食事を出してもらえるのかと思ったら用意されていませんでした。どうのことですか？

A：食事が提供されるのは、地震で開設される避難所の場合。台風（豪雨）では実際の災害が起きていないうちに予備的に開設されるので、食事や布団などは各自で持参していただかなくてはならないのデス。別にケチってるわけじゃないのよ。

Q：ネットワーク作りにはハブ役となる人が必要とのことですが、食いしん防にはそんな力があるんですか？

A：さては無いだろうと言いたいんだな。悔しいが当たってる。しかし、我らが食いしん防災コミュニティ部会やこと防には、人材ならぬ人財がそろっておるのだ！……と信じたい。

だからそのハブじゃ

ないっちゅーの！



楽しい質問、お待ちしております！

（文責：こじまっちょ）

